

令和4年度活動資料

清水地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

清水地区青少年健全育成推進会では、地域交流と子どもたちの学び・体験の活動が場を提供することを目的に、さやなぎ学習（地域学習宇）事業を実施しています。

さやなぎ学習事業では、地域の方が講師となり、米作りや地域の施設見学等、身近ではありますが今まで知らなかったことについて学び、地域の良さを楽しく学びました。

2 事業の様子



（地域学習の様子）



（米作り学習の様子）

青少年健全育成だより

No.1
発行者
会長 西坂敏夫・広報部長

四部会の活動報告とコメント

健全育成部会 部長 富樫 龍男

コロナ未収束のため、今年も年中活動のうち、総会や、年末のしめ縄作り、神楽の披露も出来ませんでした。役員会、夏休みの子供連への「ことばシリーズ」の依頼、図書の前呈は、実務することが出来ました。また新しい企画が出来れば、とも思っています。

環境浄化部会 部長 相良 幸恵

7月31日(日) 午前6:00～
歩道花壇・校門花壇の除草をし、土を整え、季節の花を植えました。
11月6日(日) 午前7:00～
花壇の整備をし、球根植え付けをしました。
地域の環境、標語看板の見廻り

コロナの収束は今年も見えてきませんが、いざいざ収束すると思えます。待っているわけでもないのに、見切り発車となるかと思わしますが、来年度中には、かつて行なっていた行事は復活させたいと思っています。

部会員は臨時、地域内通学路の危険箇所や標語看板の見廻りをしていきます。お気づきの点がございましたら、学校までご連絡をお願いします。春にたくさんのチューリップが咲きます！お楽しみに！

非行防止部会 部長 幕田 晋市

青少年の非行・反社会的行動などの未然防止のために地区内巡回を行っています。
・巡回バトロール
4名1グループとして、年間5回の巡回を計画しています。
・夜間バトロール(夏休み期間)
新型コロナウイルスの感染状況及び週日の昼間のため中止となりました。

広報部会 部長 石川 有希

市政だよりに折込み、2月に1回広報誌を発行しました。
① 12月13日 広報誌の内容を協議しました。
② 2月15日 広報誌発行。
今年度も1回となりましたが、昨年同様4ページの発行ができました。

今年度も、感染症拡大防止のため十分な準備ができていない中でスタートとなりました。各部員の協力で、可能な限りの活動を行うことができました。各回において、非行防止などの事例は見られませんでした。

今年度も、コロナ禍で開催できない行事が多く写真撮影もできませんでした。コロナ禍が長く続きなかなか例年の行事ができず残念です。来年度はできる状況に落ち着いていって欲しいと切に願っています。

令和4年度 御山小学区青少年健全育成推進会役員

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	西坂 敏夫	健全育成部長	富樫 龍男
副会長	池亀 亜紀	同 副部長	菅藤 加奈子
副会長	高木 剛史	非行防止部長	幕田 晋市
監事	安澤 恵美	同 副部長	菅野 隆哉
監事	佐藤 典子	環境浄化部長	相良 幸恵



環境浄化部会 歩道花壇の花壇の植え付け (7月31日・11月6日)



令和4年度の本会活動の概要ならびに講演内容について

御山小学区青少年健全育成推進会会長 西坂 敏夫

令和4年度もコロナ禍の1年になりました。一日も早く終息し、普段の日常に戻ってほしいものです。本会活動の概要と福島市青少年健全大会での講演について報告いたします。

1. 本会の活動概要

総会は、3年連続の中止となってしまいました。各部会の活動は、会員の皆様の協力により実施されました。詳しくは、四部会の活動報告のページをご覧ください。しかし、恒例であった御山太々神楽・しめ縄づくりは三密回避のため、今年度も中止となりました。また、登下校時の児童の安全安心のためにご協力くださったっている泉守ボランティアの皆様との懇談会も、ここ3年間実施出来ない状況になっております。この場を借りて、お礼と感謝申し上げます。

2. 「心がほっとするフワフワ言葉」の募集

今年度のテーマは「心がほっとするフワフワ言葉」というのを聞いたことがありますか。「フワフワ言葉」は、「おは皆様は「フワフワ言葉とチクチク言葉」というのを聞いたことがありますか。「フワフワ言葉」は、「おはよう・ありがと・ごめんね・だいじょうぶ・すこいね…」等、言わねえとうれしくなったり元気が出たりする言葉です。それに対して「チクチク言葉」は、「ばか・うざい・きもい・最低・死ぬ・そんなことも知らないの…」等、言われると悲しく心が傷つく言葉です。最近、学校では、生徒指導や道徳の授業などで、よく用いられているようです。応募してくれた児童は145名で、昨年を上回る過去最多でうれしい限りです。最優秀賞3名、優秀賞7名の作品をこの会報に掲載しましたのでご覧ください。

3. 福島市青少年健全育成推進大会 講演「夢に向かって」講師：大山加奈氏

講師は、高校在学中にバレーボールの日本代表に初選出され、オリンピック・世界選手権・ワールドカップの三大大会に出場し、日本を代表するプレーヤーとして活躍されました。

①夢や目標の達成には…その夢や目標にふさわしい人になる

小6で全国優勝し、中学でも目指すが1・2年では届かない。「授業中寝て家の手伝いもしない。日本一になりたければ、バレーだけじゃなく、日本一にふさわしい中学生にならなければ」と勉強や手伝いも頑張ると、周囲が応援してくれて、それが力になった。そして全国中学大会も優勝できた。たくさんの人に応援してもらった人になってください。

②自分の弱さを認めることが本気の強さにつながる

アテネオリンピックの4か月前、腰痛と過度の注目・期待のプレッシャーから、恩師と両親に「辞めたい。合宿所から逃げ出したい」と弱音を吐いた。恩師からは「加奈の性格は、スポーツ選手に向いてない。辞めたいなら辞めようよ」と。両親からは「そんなら思いをしてやらなくていい。帰っておいで」という言葉ももらった。心がすこく軽くなって、もう強い自分を築き上げていこうと思えた出来事でした。日本代表のエースじゃなくても、ただの大山加奈でも、自分のことを理解し大切に思ってくれる人がいる。そんな存在が、心の支えとなり、バレーボールを続ける原動力になりました。

夢や目標に向かって進んでいく児童・生徒の皆さん、そして、それを支える保護者や地域の皆様、参考にさせていただければと思います。



令和4年度森合地区環境美化キャンペーン 絵手紙コンクール入賞作品

森合小学区青少年健全育成推進会



【最優秀賞】

5年 車田 健心さん



【優秀賞】1年 野口 華さん



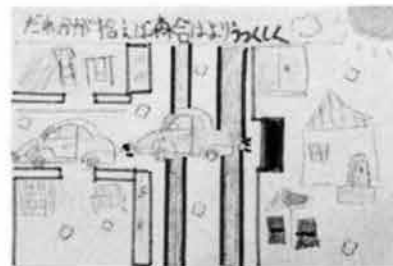
【優秀賞】5年 廣瀬 友菜さん



【特別賞】1年 加藤 優貴恵さん



【特別賞】2年 藤橋 紅寧さん



【特別賞】3年 黒田 あいるさん



【特別賞】3年 国分 希海さん



【特別賞】4年 長沢 樟大さん



【特別賞】4年 黒澤 寛佑さん



【特別賞】6年 熊谷 いずみさん



【特別賞】6年 黒岡 ゆあさん

親子ふれあい活動 水てっぼうを作ろう

令和4年
7月16日(土)

今年も雨上がりの北沢又小学校校庭に子どもたちの明るい声が響き渡りました。児童30名、役員・保護者の皆様、地域の皆様総勢およそ80名で「水てっぼう」作りをしました。日常的にコロナ感染者が出ている状況で、今回はコロナ感染者が急激に増加する直前でした。ギリギリのタイミングでしたが、開催できたことを大変喜ばしく思います。

健全育成活動部会協力員の大内さんに竹を切り出してもらい「水てっぼう」を作るために加工し準備していただきました。コロナ禍で行動が制限される中で、ゲームや動画を見て遊ぶのが当たり前になっている近年では、本物の竹にふれ自分の遊び道具を作ることは大変貴重な機会だと思います。子どもたちが少しでも手作りの楽しさを知り豊かな心を育むことのお手伝いできたとすれば幸いです。



聞いてみました！「水てっぼうを作ろう」に参加してどうでしたか？

はじめてさんかしたので、とてもたのしかったです。むずかしいところもあったけど、スタッフの人に来てもらっていろいろにできました。またさんかしたいです。

2年生

むかしの子どものおもちゃで遊べたので楽しかったです。今回の水てっぼうで6メートルも飛んだのでとても楽しく遊べました。こんどは、10メートル飛ぶ水てっぼうを作りたいです。

4年生

おじいちゃんで行きました。作るときはむずかしかったけど、おじいちゃんで作ったのでかんたんでした。作りおわったときしゃんをとりました。さいごにおかしをもらいうれしかったです。

3年生

自分の竹で一から作った水てっぼうで、8メートルくらいまで水が飛んで良かったです。去年より長かったのでうれしかったです。6年生になったら10メートルまでいけるようがんばりたいと思います。家でたくさん遊びたいと思います。

5年生

水てっぼうの作り方を知れたし、知らなかった人ともいっしょに遊べたのでいいけいけんになりました。

5年生

この他にも、「自分で作った水てっぼうで遊ぶのが楽しかった。」「水てっぼうで水をかけるのが楽しかった。」「みんなでやったことが楽しかった。」などうれしい感想をいただきました。

「むずかしかった。」という感想もあったので、次回はさらに工夫してわかりやすく、たくさんの子もたちが、楽しく制作できるようにしていきたいです。

青少年健全育成会だより

「守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ」

飯坂地区青少年健全育成推進会長 内藤三千男

厚生労働省がまとめた2020年版自殺対策白書によると、2019年の自殺者数は、10年連続で減少したそうです。しかし、20歳未満の自殺者数は前年比10%増で、2000年以降最多となったそうです。年代別の死因原因をみると、15～39歳の各年代の第1位は自殺となつています。こんな状況の中、先日、女子中学生の自殺事件が後を絶たないという事です。SN因は分かりませんが、自分の自信が持てないという事ではないでしょうか。

「守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ」これは、ドロシー・ロー・ノルトが1954年に書いた「子の鏡」の一文です。親子の絆が強い信頼で結ばれていければ、子どもも自信が生まれてきます。たとえどんな場合であっても、親は自分の信じていることを信じて決断すること、私たちがそう思えば、子どもも自信がわいてきます。自分の考えが、子どもを信じてあげれば、子どもは、強い子に育つ。そんな子どもを信じてあげることが大切です。



※ 感染症等の状況により変更する場合があります。

【本部】
 年2回 会報発行
 6月～9月 青少年健全育成推進大会等参加
 7月・11月 あいさつ運動(連接事業合同)
 12月 標語募集
 1月 標語審査会
 2月 標語表彰式

<令和4年度行事予定>

【環境浄化部会】
 7、8月 子ども110番の家ウォークラリー
 * 子どものころは、冬休み・春休みを使って実施
 【非行防犯部会】
 毎月 町内パトロール
 【健全育成部会】
 11月 昔話話ひ
 12月 卒業お話し会(飯坂小1年生)

標語を募集します

飯坂地区の子どもたちの健やかな成長を願い、標語を募集します。裏面の「標語を募集します」をご覧ください。

令和4年度 役員(敬称略)

- ◇ 会長 内藤三千男
- ◇ 副会長 安齋さと子・菅原 佳和・齋藤 卓也
- ◇ 監事 齋藤 伸洋 堀切 浩子
- ◇ 健全育成部長 片平 剛 柳沼 公貴
- ◇ 非行防止部長 佐藤喜市郎 副部長 齋藤 伸洋
- ◇ 環境浄化部長 齋藤 勇子 副部長 齋藤 卓也

※ 事務局は飯坂小学校におきます。

小中合同でのあいさつ運動を行いました

7月12日(火)と14日(木)の午前7時30分より8時まで、飯坂郵便局前で、飯坂小学校と大島中学校の児童・生徒によるあいさつ運動を行いました。

今年も、コロナウイルス感染症対策のため、1週間行われていたあいさつ運動を2回に減らして行いました。子どもたちの元気なあいさつが、朝の空気を朝日とともに明るく温かくしてくれていました。あいさつ運動は、飯坂地区青少年健全育成推進会本部の事業とともに、大島中学校区幼児小中連携事業の1つでもあります。子どもたちも含め地域が一体となり取り組んでいる事業の1つです。

小中合同でのあいさつ運動
 「おはようございます」と元気な声が響きました。挨拶は、出会いの魔法ともいわれます。大きく生きていく魔法とも言われています。

青少年健全育成会だより

『標語』コンクールへの応募ありがとうございました

飯坂地区青少年健全育成推進会長 内藤 三千男



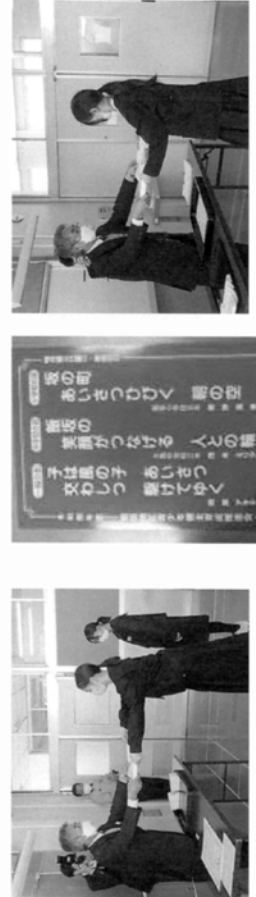
令和4年度も残り少ない日々となりまりましたが、飯坂地区の皆様は、今年度も、なかなか収束をみないコロナ禍の中、様々な活動の制限を余儀なくされる時間を過ごしてまいりました。また、最も近い3年がりのインフルエンザの流行もささやかかればはじめる時期が、今後ともまだ、健康管理に気を付けなければならぬ時期が続くようです。皆様におかれましては、どうぞ健康を留意されお過ごしください。

飯坂地区の子どもたちが、「健康で、明るく、正しく、たくましく成長できるように」標語の募集を行っています。今年度は230点の応募がありました。伝統ある標語募集に皆様のお力添えをありがとうございます。また、去る1月19日(木)飯坂小学校会議室において、標語の審査会を開催いたしました。地区青少年健全育成推進会指導員、推進役員の皆さまの審査をいただき、特選・特選入選の作品を選定しました。特選者・入選者の標語は、裏面に掲載いたしましたので、ご覧下さい。

	小学生の部	中学生の部	一般の部	合計
応募点数	100点	126点	4点	230点
特選点数	1点	1点	1点	3点
入選点数	10点	10点	1点	21点

福島県医師会ひつ迫警報発令中ということもあり、飯坂小と大島中が学校ごとに表彰式を行いました。今年度は、健全育成推進会会長より直接賞状を渡すことができました。入賞した皆様には、賞状と賞品を贈らせていただきました。応募してくださった方全員に、参加賞を差し上げました。

特選に選ばれました標語3点は、標語ポスターにして各家庭に配付するとともに、飯坂地区の公共施設等に掲示させていただきました。各家庭におかれましては、目につくところに掲示していただき、啓発を図っていただきます。ご協力、ご支援、誠にありがとうございます。



飯坂小学校表彰式 大島中学校表彰式

令和4年度の活動資料

1 ちいき・みんなのつどい後援

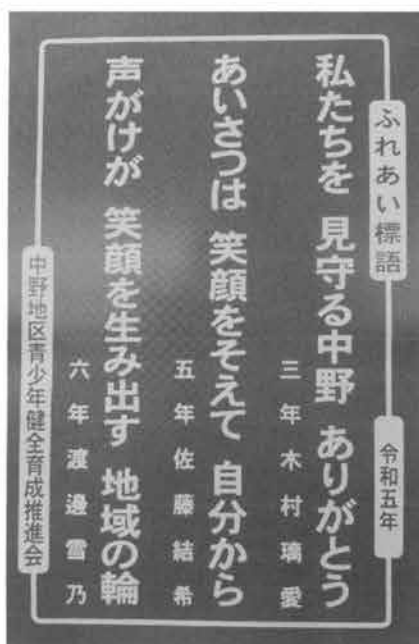
地域の方から子ども達に、太鼓のたたき方やお囃子の吹き方を教えて頂いた。子ども達は、地域の方と関わり、優しく教えて頂くことで、地域への愛着や伝統の素晴らしさを感じていた。教えて頂いた太鼓やお囃子は、ほたるのつどい（PTA、PTCA主催の夏祭り）で披露することができた。



2 ふれあい標語

健やかに育つ中野地区の子どもたちを表す「ふれあい標語」を募集した。集まった標語は、標語審査会で賞を決めた。入賞した標語を掲載した印刷物を作成し、地域へ配付・掲示した。印刷物を見た学校評議員からは「日頃から子ども達の挨拶を素晴らしいと思っていた」「このような気持ちだからこそ、見守っているくださる地域の方にお礼が言えるのですね」などといったお褒めの言葉いただいた。

○ 作成した印刷物



○ ふれあい標語入賞作品

- ・ 私たちを 見守る中野 ありがとう
- ・ あいさつは 笑顔をそえて 自分から
- ・ 声かけが 笑顔を生み出す 地域の輪

平野小学校PTA

会長 原田 茂浩

日頃よりPTA活動に対しご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。本年度も新型コロナウイルスによる影響がある中、PTA活動につきまは実施の可否、方法、内容について適宜検討しながら活動して行きたいと思っております。また、昨年終了した「資源回収」は「ウェーブマルマール」へと移行して行きたいと思っております。また、昔遊び等を通して地域の高齢者の皆様と触れ合いを学ぶ平野地区世代間交流事業「ひらの子どもまつり」の開催を検討しております。

これら各活動は保護者の皆様、先生方、そして地域の皆様の多大なるご協力を賜り活動ができています。各団体とも連携し、子供達が安心して学び成長していける環境作りを目指して参りますので、今後も変わらぬご協力をよろしくお願い致します。

「資源回収」⇒「ウェーブマルマール」へ移行
11月19日(出)「ひらの子どもまつり」(予定)

子供会育成会

会長 関根 美歩

本年度も感染拡大防止のため、毎年6月に行っております春季球技大会の開催を中止することとなりました。

今後の状況にもよりますが、秋季球技大会については検討中です。開催時には感染防止を徹底し、子供達が安心して思いきり身体を動かせるようにと考えております。

今後とも地域の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平野交通安全母の会

会長 紺野 律子

平野地区31町内会様より53名の方面委員さんを推薦いただきました。毎月1日の事故0の日及び春・夏・秋・年末年始の交通安全期間中、登校時間帯に各方向の危険箇所を説明し交通安全を呼びかけております。6月14日の方面委員会で福島北警察署の交通安全講話とシミュレーション体験をして運転時、歩行時の安全確認の大切さを再認識いたしました。

「平野かめさんクラブ」には今年度12組の親子さんが受講されています。来年3月まで毎月1回、親子で交差点を楽しく覚えていきましょ。

交通安全事故から「尊い命」を守るため、ご家族での「気をつけてね」の「愛の一言」をお願いいたします。

福島市年間スローガン
運転は ゆずる気持ちと 待つ気持ち



平野中学校PTA

会長 吉田 実

日頃よりPTA活動に対してご理解ご協力頂き、誠にありがとうございます。まだまだコロナ禍ではございますが、子供たちの明るい笑顔で地域を照らす事が出来ますよう、保護者、学校、地域の方々が一緒に良いPTA活動ができますよう努力させていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平野地区民生児童委員会

代表 本間 君子

早いもので、マスクをつけた生活も3年目となりました。なかなかコロナが終息せず、思うように活動できずストレスも溜り、体調に不安を感じているのではないのでしょうか？制限された中でも、それぞれに楽しみを見つけて、行動していく姿に人間の智慧と力のすごさを感じます。

外に出ないで家に閉じ込められがちになると運動不足と加齢により心身が衰えてきます。健康を保つための配慮が今ままで以上に必要なのではないかと思われまます。包括支援センター、町内会等でも予防のための運動や脳トレなど講習会を開いています。勇気を出して参加してみることが大事なことだと思います。

民生児童委員会は地域の繋がりを大切に固く心を持ち、健康な毎日を送って頂きたいとの願ひを持って活動しております。どんな小さな事でも1人で悩まずに気軽に声をかけて相談して下さい。

平野地区防犯協会

会長 田島 茂

平野地区防犯協会は、犯罪のない安全・安心の町づくりを目的として防犯思想の高揚と事件事故の未然防止を図ることを目的として今年も次の事業を実施して行きます。

- ① 登下校の不審者出没地域のパトロール
- ② 平野ふるさと探検活動の協力
- ③ 子供110番の協力
- ④ 夏期防犯パトロール土日曜10日間
- ⑤ 安全月間防犯パトロール

など実施していきます。

犯罪のない地域づくりに、今後とも皆様のご協力をお願い致します。



平野少年剣道クラブ

会長 渡邊 賢一

令和3年度の平野少年剣道クラブの活動は、昨年に続きコロナ禍のために大きく制限されました。大会、対外交流はすべて中止となり唯一9月に福島支部剣道選手権大会が開催され4年生女子が2位に入りました。稽古は市のコロナ対策のために1月28日より3月28日まで体育館を使用できず中止となりました。毎年盛大に開催しておりました納会大会も稽古が再開された4月4日の稽古日に内輪で開催致しました。部員は2名の卒業生を送り新たに9名の新入部員を迎え活気を醸成を続けております。今年こそそそ平常に戻り以前の活動が出来ることをせつに望みます。

平野地区区体育協会

会長 石渡 栄吉

平野地区区体育協会のスローガンは“子供から高齢者まで健康で住んで良かった平野”です。今年度は新型コロナウイルスに対し感染防止を徹底し、安心安全の環境で活動を行いたいと思っております。本年度の大会を紹介します。

- 5月 年代別ソフトボール大会(中止)
- 6月 グランドゴルフ大会(開催終了)
- 7月 ゴルフ大会(新規開催)
- 9月 ソフトバレーボール大会
- 9月 スローピッチソフトボール大会
- 10月 平野地区大運動会
- 11月 ミニゴルフ大会
- 健康ウォーキング大会
- 12月 総合反省会
- 1月 卓球大会
- 2月 家庭バレーボール大会
- 3月 ボッチャ大会(新規開催)

地区の皆さんが、少人数でも参加出来る大会がたくさんあります。友達を誘って参加しよう。

地域の輪 団体の主な活動

平野地区青少年健全育成推進会

会長 根本 眞

コロナ禍2年間、予定していた諸行事を中止いたしました。地域のつながりが希薄化し子供たちの活動が制限されるなか、唯一平野少年剣道クラブの活動が継続されたことは光明でありました。

今年度は少年の社会参加活動(ふるさとたんけん活動)の再開を目指し、校務多忙のなか、推進会事務局藤原武田教頭にお骨折りいただき「ふるさとたんけん活動」の資料と準備をしていただきました。

6月下旬には平野小学校を会場に事前打ち合わせを計画しています。この活動を目ざりとして一歩一歩「大人が変われば 子どもも変わる」“地域の子どもは地域で守り育てる”をめあてとして、青少年の健全育成に努めてまいります。



第二十七回 湯野子どもの集い（みんなで遊ぼう）

総会、本部役員・地区推進員合同会と、慌ただしく事業計画の推進と確認をすすめ、協力してくださる方々で、飯坂学習センターとの共催で、九月二十六日の午後には湯野小学校一・二年生を対象に実施しました。

「輪投げ」「カロリング」「マグダーツ」「スカットボール」「ディスゲッター」という五種類の「ニュースポーツ」に挑戦してもらいました。はじめは上手くいきませんでしたでしたが、コツをつかむともう本気です。楽しみにしていたくれた様子が歓声となつて会場全体に響き渡り、統合して初めてのお子さんたちとのふれあいは、我々にとっても楽しい時間となりました。

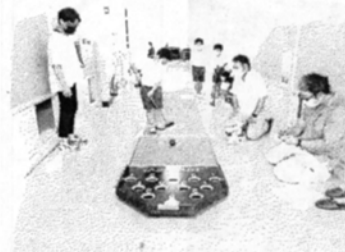
コロナ禍の前までは大々的に開催しておりました「湯野子どもの集い」ですが、規模も内容も縮小してしまいました。子どもたちの笑顔のため、今後も継続していきたいと考えておりますが、協力してくださる方々のお仕事に支障が出ないようにしなくてはと思いました。



ディスゲッター



輪投げ



スカットボール



マグダーツ

令和4年度 「標語」「ふれあい川柳」優秀作品

標語の部

(1) 小学校 3点

	作	品	学	氏	名
1	3R	みんなで守ろう	ぼくの町	4	桜井 莉人
2		町づくり	人と人との助けあい	4	小野 結護
3		未来まで	豊かな自然を 守ろうよ	6	岡野 百花

(2) 中学校 6点

	作	品	学	氏	名	
1		リサイクル	やって守ろう	豊かな自然	1	安田 深 桜
2		資源ゴミ	リサイクルしなきゃ	ただのゴミ	1	古澤 莉 緒
3		そばにある	幸せ拾う	ゴミ拾い	1	阿蘇 陽 香
4		やめようよ	環境破壊	ポイ捨ては	1	梅原 豪 太
5		ポイ捨ては	全てをよごす	きっかけだ	1	大久保 遠 真
6		未来のまち	みんなのために	あなたのために	1	大宮 陽 翔

ふれあい川柳の部 4点

	作	品	学	氏	名
1	守ろうよ	自然がいっぱい	湯野の町	小4	桜井 莉人
	守ろうね	何ができるか	考えよう	母	桜井 晃子
2	みんなでさ	自然を守ろう	すきな町	小5	横山 莉奈
	大事だね	自然を守る	心がけ	母	横山 由佳
3	町にひびく	元気なあいさつ	うれしいな	小6	榊原 葉音
	声かけて	笑顔と元気	もらってます	母	榊原 優紀
4	お買い物	自然を守る	エコバッグ	中1	山岸 想乃
	そうだよ	CO ₂ も	削減だ	中1	大槻 羽菜

「標語」「ふれあい川柳」
 今年度も健全育成部会を中心に「標語」「ふれあい川柳」の募集を行いました。今年度の募集については、小学生（三〜六年生）に加えて、初めて中学生の皆さんも参加していただきました。今年度の募集については、小学生（三〜六年生）に加えて、初めて中学生の皆さんも参加していただきました。今年度の募集については、小学生（三〜六年生）に加えて、初めて中学生の皆さんも参加していただきました。

「ふれあい川柳」の募集を行いました。今年度の募集については、小学生（三〜六年生）に加えて、初めて中学生の皆さんも参加していただきました。今年度の募集については、小学生（三〜六年生）に加えて、初めて中学生の皆さんも参加していただきました。



健全育成部 安田長生

「環境問題」に関する標語と、「環境・福祉」に関するふれあい川柳の募集審査発表を行いました。

近年、二〇一五年に国連総会で採択されたSDGの持続可能な開発目標の実現に向けて、徐々に機運が高まっております。

そのような中、当部会でも、子供たちの視点で、当事者としてどのように考え、どのような取り組みができるのかを考えてほしいと思いました。

「お題」として、数ある目標の中から「環境」「健康・福祉」を取り上げさせていただきました。環境問題は、エネルギー問題、ゴミ問題、町づくり問題など多岐にわたる、とても身近な問題です。コロナ禍が続く状況のなかで持続可能な生活環境をすべての人に健康と福祉をという観点から考えるのもタイムリーな「お題」だと考えました。

時代背景の変化等から危険やトラブルの場面も変化し、大人が予測するのが難しく、さらに見えにくくなつてきていると感じています。子供たちの自立を手助けし、自らが感じ考え、危険やトラブルに巻き込まれないようにすることが、今まで以上に大事になるのではないのでしょうか。

標語や川柳を考える時間を通して広い社会や抱える問題に目を向けてもらい、「考え、感じる力」を少しでも身につけてもらいたいと願っています。

令和4年度は、小学校の統廃合により、湯野地区と東湯野地区の健全育成の組織が合併された歴史のある年になりました。それぞれの地区の歴史的背景を尊重しながら、お互いアイディアを出し合い、地域の子どもたちの健全育成につながる活動を進めていければと考えております。

令和4年度活動資料

茂庭地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

茂庭地区青少年健全育成推進会では、茂庭地区体育協会が主催する事業のうち、世代間交流や子どもたちの体験の活動の場を提供する各種事業に継続して協力しています。

また、夏休み期間中にキャンプ場の巡回補導活動（併せて清掃活動）を行うなど、地域で子どもたちの健全育成・非行防止を図る活動を実施しています。

2 事業の様子



（親子スキー教室）



（キャンプ場巡回補導）

異世代交流「釣り大会」

～海釣りに参加して～

令和4年9月17日(土)、新潟西港方面へ行き、海釣りをしてきました。6家族14名が参加し22名で出発しました。親子や地域の方が和気あいあいに交流を深めながら釣りを楽しみました。参加者の感想です。

(敬称略)



●6年 渡辺 陽翔

ほくは、つり大会が楽しかったです。それは、いろいろな人といっしょに海でつりができたからです。

ほくは、初めて海でつりをしました。そうしたら、かわいいフグがくれたので、うれしかったです。

はじめはつり上げたフグの目の上のまぶたに針がついて、かわいそうだと思ったけれど、次からはふつうに口についていたのでよかったです。と思いました。

初めてのつり大会でしたが、とても楽しかったです。

■6年保護者 渡辺 寿之

私も息子も魚釣りをするのが初めてで、釣り大会を心待ちにしていました。当日は同行してくださった先生や名人の方々にご指導いただき、釣果はともかく楽しい一日になりました。

こんなにも長く息子と二人で過ごす時間がなかったので、貴重な機会をいただき、感謝しています。ありがとうございました。

生きる力をはくむ事業

しめかざり作り

12月10日

場 所 松川小学校 参加者 37人



正月に飾る「しめかざり作り」を開催しました。講師の丹治春治様、須田等様、伊藤貞敏様のご指導の下、25名の親子・地域の方が参加して、楽しく製作をしました。子どもにも、大人にも、なかなか難しいしめかざり作りでしたが、講師の方々丁寧に教えていただきながら、よい正月を迎えることができるよう、自分のしめかざりを作り上げることができました。

青少年健全育成標語 応募点数262点

小・中学生を対象に標語の募集を行いました。自由なテーマで創作された素晴らしい作品が多く集まりました。優秀作品は印刷物として各戸へ配布いたします。壁に貼るなどして、子どもたちの健全育成にお役立てください。

優 秀 作 品

- ババ見てね スマホじゃなくて わたしたち
松川小学校4年 加倉井 結 椋
- 松川の おはようとびかう 朝が来た
松川小学校5年 一 條 淳 莉
- 友となら 乗りこえられるよ 何事も
松川小学校6年 村 岡 卓 真
- あいさつで 笑顔いっぱい 町づくり
松陵中学校1年 久 木 美 咲
- 何気ない 家族の笑みが 温かい
松陵中学校2年 楠 田 友 亜 菜
- スマホより 家族団らん 話そうよ
松陵中学校2年 高 橋 未 鈴



令和4度水原地区青少年健全育成推進会活動資料

第1回資源回収 <8月21日>

水原小学校PTA、地域の方々に協力をいただき実施しました。暑い日にもかかわらず、たくさんの資源物を回収することができました。



「家庭の日」標語表彰式 <11月5日>

水原小学校PTA及び家族の方々の前で、「家庭の日」の標語入賞者の表彰をしました。



※小学生の標語は、学校前の道路に看板として掲示し地域の皆様に見ていただいています。

収穫祭 <11月22日>

学校田で収穫したお米を使って、「カレーライス」を全校児童で作りました。保護者の方々をお招きし、体育館にておいしくいただきました。



令和4年度活動資料

金谷川地区(小学校区)青少年健全育成推進会

1 活動内容

金谷川地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、登下校時の通学路の見守り活動を実施したり、夏休み中の危険箇所の点検をしたり、地域で子どもたちの健全育成を図る活動を展開している。

その他、読書による心の教育推進、環境美化奉仕作業、資源回収、情報モラル教室などの活動を実施している。



(読書推進活動の様子)



(環境美化奉仕作業の様子)



(資源回収の様子)



(情報モラル教室の様子)

令和4年度活動資料

下川崎地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

下川崎地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、あいさつ運動や通学路の見守りの下校パトロール活動を実施している。加えて、花いっぱい運動として通学路のマリーゴールド植栽や夏休み中の夜間パトロール（巡回補導活動）を行うなど、地域の子どもたちの健全育成・非行防止の活動に取り組んでいる。

その他にも、地区内の危険箇所点検や下川崎地区独自の「子ども緊急ひなん家」マップの作成、通学路や学校敷地周辺の除草剪定作業をし、安心安全な地域づくりを行っている。

2 活動の様子



（花いっぱい運動マリーゴールド植栽）



（「子ども緊急ひなん家」マップ）※小学生のいる全戸に配付



（地区内の危険箇所点検）

令和4年度活動資料

大森地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

大森地区推進会では、地区内の危険箇所・遊び場点検、街頭補導パトロールを実施するほか、児童・生徒を不審者などから守るため、地域や事業所の協力を得ながら、チャイルドガードパネルの設置に取り組んでいます。

生きる力をはぐくむ事業では、例年実施していた大森ファミリーコンサートに代わり、各学校で演奏を収録し、地区内の医療機関、福祉施設へBDの配布を行いました。



チャイルドガード

2 活動の様子



(各学校での演奏収録の様子)

鳥川地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

鳥川地区青少年健全育成推進会では、同地区の他団体と協力しながら、年間を通して登下校時の「ながら見守り」運動を実践している。また各部会ごとに、夏季休業前の危険箇所点検、夏季休業中の街頭補導、着衣泳講習会など各種活動を展開している。

これらの活動の様子も含め、推進会の活動について2月に「健全育成だより」を発行、地区内全戸に配付する活動をとおして活動への理解・協力を求めるとともに、青少年健全育成の啓発に努めている。

2 活動の様子



着衣泳講習会



青少年健全育成だより

令和4年度活動資料

平田地区（小学校区）青少年健全育成推進会

【森林環境体験学習】

全校児童で、フォレストパークあだたらに出かけました。森の案内人の皆さんにご協力いただき、森林散策や工作体験などを行うことができました。児童は、森林の役割や自然を大切にすることの大切さ、自然のすばらしさなどの様々なことを、五感を通して学ぶことができました。



【情報モラル講演会】



医療創生大学教授 中尾 剛先生を講師に迎え、「情報モラルについて考えよう」の演題でご講演をいただきました。

児童は、インターネット依存・ゲーム依存、健康への影響、SNS被害などについて、一人一人が心掛けなければならないことは何かを考えることができました。

【親子奉仕作業】

日曜日の朝、保護者と児童と一緒に校舎内外の清掃（窓ふき・トイレ掃除等）を行いました。

保護者も児童も全員が参加し、ともに汗を流すことで、力を合わせて活動することや自ら進んで活動することの大切さを経験することができました。

令和4年度活動資料

平石地区(小学区)青少年健全育成推進会

【 活動内容 】

平石地区青少年健全育成推進会では、地域と家庭とが協力し合ってプール清掃やクリーン活動を実施した。また、スキー教室を実施したことで、子どもの体力づくりや雪の多い地方の環境学習を行うことができた。その際、家庭による学習ボランティアを募った。多数の保護者の学習ボランティアにより、親子や地域のよりよいつながりを感じながらスキー学習に取り組むことができ

【 活動の様子 】

1 プール清掃 (5月15日)



2 クリーン活動 (11月13日)



3 スキー教室 (1月13日)



令和4年度活動資料

庭坂地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

庭坂地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、非行防止・防犯パトロール運動や健全育成意識向上をめざした庭坂小学校全員参加の標語「コンクール」の活動を実施。加えて、登下校時に安全を見守っていただいている見守り隊の方への感謝の意を伝える会を実施した。

コロナ禍の中で、できることを見出し取り組み、安心安全な地域づくりを行っている。

2 活動の様子



(非行防止・防犯パトロールスタート地点庭坂駅にて)



(下:標語コンクールこれまでの最優秀作品 右上:令和4年度最優秀作品)

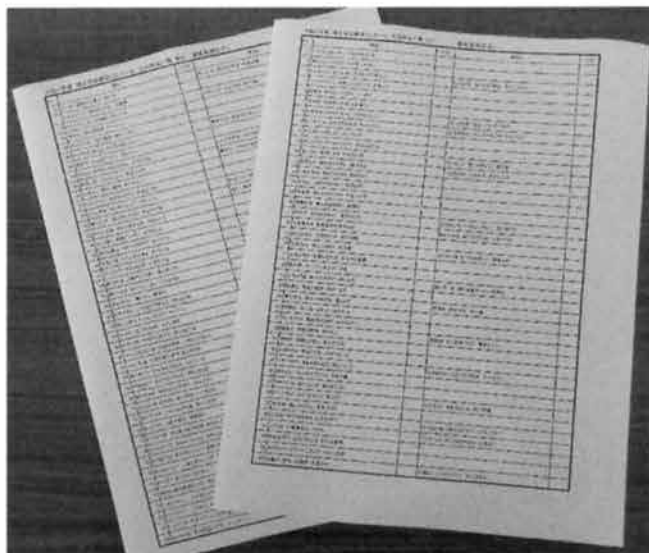


(守り隊の方への感謝の会:校内オンライン配信にて実施)

令和4年度 庭塚地区の活動

【庭塚地区標語コンクールについて】

全校児童から、標語作品を募集し、82名全員が参加することができた。審査については、健全育成推進会役員の皆様にご協力いただき、応募総数のべ112点の中から厳正に審査を行い、金賞作品3点、銀賞作品11点を決定した。



ポスターは学校内各教室に掲示、全家庭及び、庭塚地区全世帯に配付し、健全な子どもの育成に寄与することができた。



過去5年間の金賞作品の看板に引き続き、今年度の金賞作品の看板も作成し、道行く人の目に留まるように学校前のフェンスに設置している。

令和4年度 活動報告書

【水保プロジェクト（生きる力をはぐくむ事業）を中心に】

1 実践の意図

本校は全校生64名の小規模校である。純朴な児童が多く、幼少時から郊外のゆたったりとした環境で育った子どもたちは自己表現を苦手とする姿が多々見られる。また、学区内に児童養護施設があり、そこから登校する児童は様々な生育歴をもつとともに、集団生活への適応に困難を示したり、自己肯定感をもてずいたりといった姿も見られる。こうした子どもたちに、将来にわたる「生きる力」を育むために、体験活動を通して多くの人々と関わったり、地域のよさを再発見することのできる機会を設けたりすることが大切であると考え、地域の教育力の低下、地域における各家庭の結び付きの弱さが叫ばれる昨今、こうした問題を双方向的に解決し、児童の健全な育成を図っていくために、交流体験活動を有効に機能させたいと考えた。

2 実践の内容

(1) 水保プロジェクトの計画

：年度当初の地区の健全育成推進総会に実施計画書を提出、審議を受ける。

回	期 日	内 容	連携に関わった人材・推進担当者
1	11月19日(土)	「健太康太学校ライブ大作戦」	地区健全育成委員、保護者
2	12月14日(水)	体験活動・昔遊びの会	地域敬老の方々 地区健全育成委員、保護者
2	2月6日(月)	ポッチャ・車いすバスケットボール機器	地区健全育成委員

(2) 水保プロジェクトの実際

【健太康太学校ライブ大作戦】11月19日(土)

＜参加者91名 小学生59名・保護者17名・役員1名・教職員14名＞



福岡県出身「双子シンガーデュオの『健太(さん)・康太(さん)』」をお招きし、スクールコンサート(学校ライブ)を開催した。「オアシス」「悲しみ消えるまで」「DIAMOND BLUES」「前を向いて歩こう」「おんがく」などを熱唱していただいた。健太さん・康太さんが、夢を持つことの大切さ、みんな一人ではないことの意味など、たくさんの感動するメッセージを届けてくださった。

【体験活動・昔遊びの会】12月14日(水)

＜参加者38名 小学生20名・職員10名・役員3名・顧問4名＞

あやとり・折り紙・お手玉・けん玉などの昔遊びを地域の敬老の方々にお世話になりながら1・2年生が体験した。地域の方々と世代間の交流を深めることができ、有意義な学習の場となった。児童は、笑顔いっぱい楽しく学習することができた。



【ポッチャ・車いすバスケットボール体験教室】2月6日(月)

＜参加者51名 小学生42名・教職員9名＞

ポッチャ日本代表チームコーチ等を歴任されている國分章夫先生、車いすバスケットボール国際審判員で東京2020パラリンピックにおいて笛を吹いた二階堂俊介先生をお招きし、パラリンピック教室を行った。前半は、実際にポッチャを体験した。自分たちで審判も務め、縦割り班で仲よく活動することができた。後半は、車いすバスケットボールについて、東京2020パラリンピックでのエピソードを交えながら講演いただいた。実際に競技用の車いすに乗る経験もした。児童は、障がい者スポーツへの興味・関心を高め、障がい者や世界の多様な文化について理解した様子だった。



(3) 考 察 (○：成果 ●：課題)

- プロのシンガーソングライターを招いての学校ライブは、プロの本物の歌声を聴くことができた点で、児童にとっても地域にとっても意味深いものとなった。また、本校児童に、自分たちの生い立ち、東日本震災等を通して培った熱く、優しいメッセージを届けてもらい、児童はそれぞれ大切な何かを感じ取ったことと思う。
- 昔遊びの会は、コロナ禍のため、1・2年生のみでの実施となったが、地域の方々とのふれあい活動を通して、地域を見直したり今後の学習活動につないだりする大きなきっかけをつくることができた。体験活動の機会を通じて世代間交流を図ることで、開かれた学校づくりを推進することができた。
- パラリンピック教室では、世界で活躍する指導者・審判員から話を聞き、実際に競技にふれることで、児童は、障がい者スポーツへの興味・関心を高め、障がい者や世界の多様な文化について学ぶことができた。
- 学校は地域によって支えられている。そしてそこには、お世話になっている貴重な組織や人材の方々がいらつしやる。今後も、学校は地域とのつながりを大切にすることはもちろん、子どもたちの健全育成に向けて積極的に活動をコーディネートしていく必要がある。

1 活動内容

飯野地区青少年健全育成推進会では、例年行っていた「ホコ天」等における非行防止パトロールや啓発活動、学びと体験の場としての「ジュニアスケート教室」などの事業を3年ぶりに再開しました。

2 活動の様子



(「ホコ天」パトロールの様子)



(ジュニアスケート教室)

